

福井市PTA連合会 ご提言への回答について

提言1「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会に向けた取組について

【内容】

平成30年の「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催を迎えるにあたり、県民・市民の関心がそんなに高い実感がありません。

福井市としては、関心を高めるためにどのような取組を考えていますか。

【回答】

「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会（両大会）の開催に向け、平成28年8月に策定した※「市民協働アクションプラン」に基づいて、「1市民1参加」を目標に、国体ボランティア募集や花いっぱい運動などに取り組んでいます。

まず、「市民が輪になって国体を盛り上げよう！」を基本目標に、ボランティアへの登録、プレ大会競技観戦などを市民に呼びかけていきます。

また、各種イベントにおけるPRや広報啓発グッズの配布に加え、広報紙への掲載、カウントダウンイベントや競技体験イベントへの市民の参加などを通じて機運醸成を図っていきます。

次に、「あふれるほどの心を込めて来訪者を温かく迎えよう！」を基本目標に、参加選手等への手作り記念品製作、おもてなし料理のふるまいなどへの市民の参加を募集します。

さらに、「世界に誇れる福井市を目指そう」を基本目標に、花いっぱい運動やクリーンアップ運動への市民参加を呼びかけていきます。競技別プレ大会に向けては、自治会連合会や小中学校へ、花いっぱい運動などへの協力を依頼したところであり、

特に小中学生の皆さんには、ポスターコンクールへの応募や花育て、学校観戦など、本大会に多く関わりあい一緒に盛り上げていけるようお願いしました。

本年6月からは競技別プレ大会が開催されます。これら競技別プレ大会、両大会の開催準備や各種イベントなどに、一人でも多くの市民に参加いただくことで、市民の関心を高め、両大会を成功に導いていきます。

※ 参考 … 別紙「福井市市民協働アクションプラン概要版」

「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会福井市実行委員会
福井市市民協働アクションプラン概要版

市民・団体・学校等
市・市実行委員会
両者共通

項目 内容 実施主体 目標 スケジュール

1 市民が輪となって国体を盛り上げよう！

項目	内容	実施主体	目標	H28年度	H29年度	H30年度
(1) 国体ボランティア	国体ボランティアの募集、講習会の実施	市民、団体、市、実委	【ボランティア登録者】 H30: 2,100人			
(2) 競技会観戦・式典観覧	市民観戦、学校観戦の促進	市民、学校、市、実委	【学校観戦参加人数】 H30: 13,500人			
(3) 各種スポーツ啓発・体験	障スポ、テモスポ、オープン競技の体験会の実施	市民、団体、市、実委	【体験会の実施回数】 H28～30年度 年2回			
(4) イベント	関係イベントへの参加、自主イベントの開催 例) カウントダウンイベント、炬火イベント	市民、団体、市、実委	【イベント参加数】 H28～30年度 140回			
(5) はびねずダンス・体操	はびねずダンス・体操の普及活動	市民、実委	【普及イベント回数】 H28～30年度 30回			
(6) 今日のハピドリ	国体マスコットキャラクターと市民の記念撮影 撮影した写真を国体ホームページに掲載	市民、実委	【撮影写真数】 H28～30年度 4,500枚			

2 あふれるほどの心を込めて 来訪者を温かく迎えよう！

(1) 応援のほり旗	競技会場に設置する47都道府県の選手団を応援する のほり旗を市内児童・生徒に製作依頼	学校、実委	【のほり旗製作数】 H30: 564枚			
(2) ウェルカムデコレーション	競技会場や駅周辺に、おもてなしや歓迎の意を込めた 装飾物を設置	市民、実委	【装飾物設置数】 H30: 27か所			
(3) おもてなし料理	競技会場において、市民と協働して福井の食材を活用 した料理や特産物を提供	市民、団体、市、実委	【提供食数】 H30: 16,800食			
(4) ポスターコンクールの実施	ポスターコンクール(小中学生・一般)を実施 入賞作品を大会プログラム等に掲載	市民、学校、市、実委	【応募数】 H29: 1,300点			
(5) 手作り記念品	選手・監督へ市民が製作したおもてなし記念品を贈呈	市民、団体、市、実委	【製作個数】 H29～30年度 10,000個			

3 わがまち「ふくい」の魅力を再確認し、来訪者に発信しよう！

(1) 観光情報等の発信	「観光、おもてなし研修会」(ボランティア向け)を実施 案内所等でのパンフレット配付	市民、市、実委	-			
(2) 市内飲食店の案内	選手・監督等に飲食店等を紹介したフリーレットを配布	市民、団体、市、実委	【配付数】 H30: 20,000枚			

4 世界に誇れる福井市を目指そう

(1) クリーニングアップ運動	クリーニングアップ作戦への参加 清掃ボランティアの募集	市民、市、実委	【清掃活動参加者】 H30: 480人			
(2) 花いっぱい運動	団体(学校、自治会)に育成依頼 育成されたプランターを競技会場や駅周辺等に設置	市民、団体、学校 市、実委	【設置プランター数】 H29: 620個、H30: 4,380個			
(3) エコ活動	競技会場内でのごみの分別リサイクルの推進 公共交通機関利用等の呼びかけ	市民、市、実委	-			

提言3 女性の社会への参画における取組について

【内容】

女性活躍推進法が施行され、女性の社会へのさまざまな参画が今後ますます期待されます。

福井市の「第5次男女共同参画基本計画」の作成にあたり、私も審議委員として福井市PTA連合会を代表して策定に参加させていただきました。この基本理念に基づき、あらゆる分野において女性が活躍するためには、家事・育児などの面でのサポートが今以上に必要になってくると思います。

家庭や職場のサポートに関して、福井市としてどのような取組をお考えでしょうか。

【回答】

福井の女性の皆さんが家庭や仕事に、大変頑張っていることは、福井の共働き率が全国第1位、また育児中の女性の就業率が全国3位という結果からも、うかがい知ることができます。

平成29年度からスタートする「福井市第5次男女共同参画基本計画 輝く未来のパートナー・プラン」では、働くことを希望する女性が多く、女性の就業率が全国トップクラスという一方で、個性と能力を十分に発揮し活躍している女性はまだまだ少ない状況を踏まえ、「あらゆる分野における女性の活躍」を強化項目として掲げています。また、女性があらゆる分野において活躍するためには、「仕事と生活の調和が図られた社会の実現」も重要であると考えており、職場における仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進や男女がともに担う家庭生活づくりに取り組んでいきます。

具体的な取組として、職場においての子育てと仕事が両立できる環境整備につなげるため、「子育てファミリー応援企業」への登録促進に取り組んでいきます。また、ワーク・ライフ・バランスの推進を図るために、企業向けの出前講座も実施します。

家庭生活づくりの取組としては、家庭における女性の負担軽減を図るため、男性の家事・育児・介護への参画を働きかけます。具体的には、「男性の朝カジ、プラス10分運動」を展開します。総務省の「社会生活基本調査」によると、1日の男性の家事・育児への参加時間の福井県の平均は、20分となっています。そこで、朝の忙しい時間帯に、今よりもう10分(1日平均30分)、男性が家事・育児に参加するよう働きかけていきます。

また、その他の具体的な取組については、本計画に沿って関係所属が連携し積極的に展開していきます。毎年度、各事業を評価し、推進方法の見直し等を行いながら、さらなる取組の充実を図っていきます。